Panasonic

パナソニック株式会社
〒571-8501 大阪府門真市大字門真1006番地

2018 年 3 月 28 日

ノートパソコン　バッテリー発火防止のためのリコール社告について

パナソニック株式会社は、ノートパソコン レッツノート CF-SX/NX・CF-S10/N10・CF-AX、タフブック CF-C2 の各シリーズにおいて、劣化の進んだバッテリーパックから発火する可能性があるためリコール社告を実施します。
今回のリコール社告においては、全数を対象としたバッテリーパックの交換は行わず、バッテリーの劣化状況を判定し発火の危険性を回避するバッテリー診断・制御プログラムを提供します。現在、そのプログラムの開発を進めており、本年 5 月末よりご案内させていただく予定です。それまでは、事故発生の危険性を低減させるために、緊急対策として充電制御ユーティリティ※1 の設定をお願いいたします。

対象製品をお持ちのお客様は、下記の表からご確認いただき、対象の場合は、恐れ入りますが、充電制御ユーティリティ※1 の設定をお願いいたします。なお、2014 年 5 月、同年 11 月、2016 年 1 月、2017 年 12 月に弊社が発表したリコール社告で、すでにバッテリーパックを交換されたお客様も、ご対応いただきますようお願いいたします。
5 月末にバッテリー診断・制御プログラムが完成し次第、ダウンロードとインストールのご案内をさせていただきます。
お客様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

※1 充電制御ユーティリティ（CF-C2 では BIOS ユーティリティ）は、充電量を 80%に制限することで、バッテリーの劣化による内圧上昇を抑え、事故発生の危険性を低減することができます。パソコンに搭載されているエコノミー（ECO）モード設定（CF-C2 では高温モード設定）と同様です。本充電制御により、バッテリー駆動時間が設定前の 80%になります。

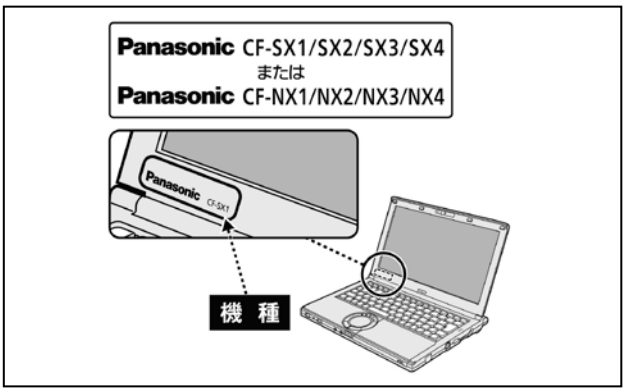
1. 対象製品および台数

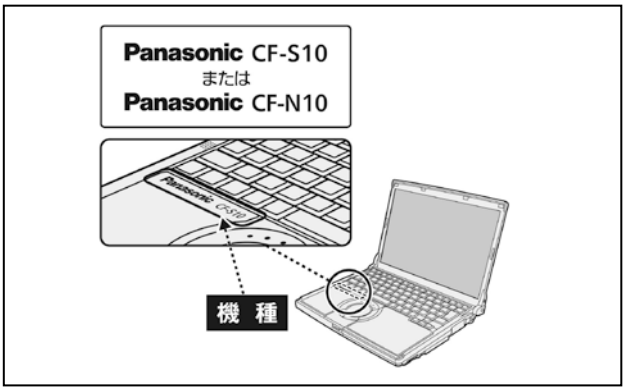
対象機種	製造期間	対象台数		
		国内向け	海外向け	合計
CF-SX1/SX2/SX3/SX4※2 CF-NX1/NX2/NX3/NX4※2	2012 年 1 月～2018 年 3 月	669,569 台	9,396 台	678,965 台
CF-S10 CF-N10	2011 年 2 月～2014 年 11 月	219,030 台	—	219,030 台
CF-AX2/AX3	2012 年 10 月～2016 年 10 月	135,114 台	16,190 台	151,304 台
CF-C2	2012 年 10 月～2018 年 3 月	6,183 台	113,036 台	119,219 台
合計		1,029,896 台	138,622 台	1,168,518 台

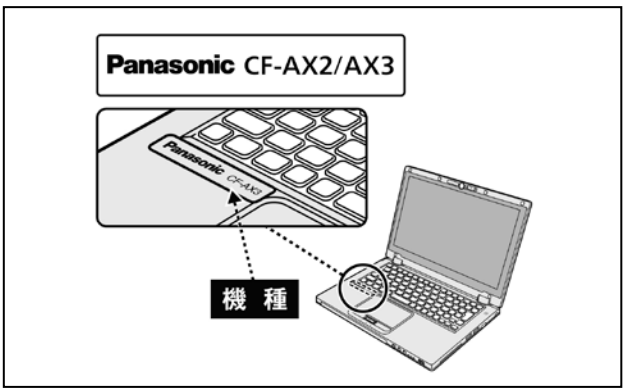
※2 SX4/NX4 の Windows 10 プリインストールモデルを除く

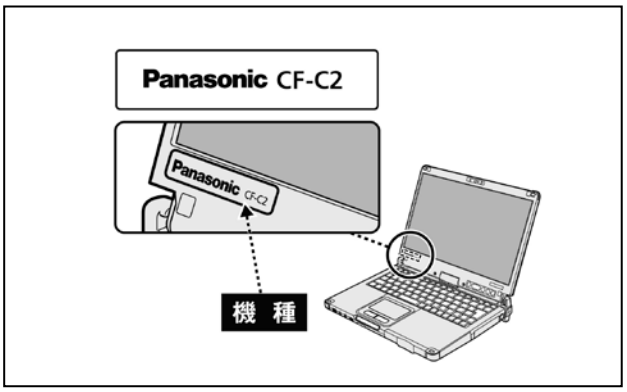
パソコンの機種品番の確認方法

パソコンの機種をご確認ください（下図参照）。









2. 事故の概要

2016 年 8 月から 2018 年 3 月にかけて発生した今回の対象機種による発火・焼損事故は、以下の 12 件です。いずれの事故も、人的被害には至っておりません。

No	機種品番	発生日	発生場所	被害状況	国内報告先
1	CF-AX2	2016 年 8 月	大阪府	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	製品評価技術基盤機構
2	CF-AX2	2017 年 6 月	東京都	当該製品を充電中、 当該製品を焼損	消費者庁 経済産業省
3	CF-C2	2017 年 8 月	米国	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	—
4	CF-C2	2017 年 11 月	英国	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	—
5	CF-C2	2017 年 12 月	英国	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	—
6	CF-SX2	2018 年 1 月	大阪府	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁 経済産業省
7	CF-C2	2018 年 1 月	英国	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	—
8	CF-AX2	2018 年 1 月	新潟県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	製品評価技術基盤機構
9	CF-SX3	2018 年 2 月	神奈川県	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁
10	CF-C2	2018 年 2 月	オランダ	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	—
11	CF-NX2	2018 年 2 月	大阪府	当該製品を充電中、 当該製品および周辺を焼損	製品評価技術基盤機構
12	CF-SX2 （調査中）	2018 年 3 月	北海道	当該製品を満充電後、 当該製品および周辺を焼損	消費者庁

3. 経緯

(1) 2017 年 12 月 6 日、レッツノート CF-SX/NX・CF-S10/N10 用バッテリーパックにおいて、事故防止のためのリコール社告を実施しました。

(2) その後、2017 年 12 月 6 日付けリコール社告対象外の機種シリーズあるいは対象外の製造期間のバッテリーパックからの発火事故が 8 件発生し、合計 12 件となりました。

(3) 今回の 12 件は、バッテリーの製造期間に集中性はなく、劣化したバッテリーから事故が発生していました。

4. 発火原因と対策

発生した 12 件の事故は、原因の特定には至っていませんが、いずれもバッテリーの劣化による内圧の上昇と微細な異物の混入により内部短絡して発火したと判断しています。バッテリーの劣化状態を診断して最適な充電制御を行うことにより、内部短絡の防止が技術的に可能であることが判明しましたので、対策として新たにバッテリー診断・制御プログラムを開発することを決断しました。

5. 対象の特定

対象とする機種は、劣化による内圧の上昇で事故が発生したバッテリーと同型のバッテリーを搭載し、バッテリーの劣化状態に応じた充電制御を導入していないパソコンの全ての機種シリーズです。

6. お客様への対応

(1) 該当機種をお使いで、インターネット接続をされているお客様には、パソコン画面に対象機種であることをお知らせし、充電制御ユーティリティ(CF-C2 では BIOS ユーティリティ)[※1] の設定をご案内いたします。

(2) 5 月末にバッテリー診断・制御プログラムが完成し次第、ダウンロードとインストールのご案内をさせていただきます。

(3) 明日 3 月 29 日、新聞紙上で、リコール社告を行います。

(4) 弊社ホームページでもお知らせします。
(http://askpc.panasonic.co.jp/info/180328.html)

(5) 本日から、フリーダイヤルにてお問い合わせをお受けします。
フリーダイヤル 0120-870-163
受付: 9 時から 21 時 (2018 年 4 月 27 日まで毎日)
9 時から 17 時 (2018 年 4 月 28 日以降、土、日、祝日を除く)

以上